

## 2017年度 2年 古典B シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	指導者名
古典B	2単位	2	全	必修	普通科	伊志嶺 佳子 印 仲松 綾子 印 石岡 久仁文 印 中石 エリ子 印

### 1. 概要及び目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

### 2. 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

- 定期テスト
  - 1, 2学期には中間考査・期末考査・実力テスト、3学期には学年末テストを実施する。
  - 中間・期末考査は、授業内容を主にし自主学習課題も範囲に加え、応用を含めて出題する。
- 小テスト
  - 授業の中で適宜、小テスト（漢字・古典文法など）を実施。語彙力を評価し、学習意欲の向上を図るとともに学習習慣や姿勢も観察し、指導する。
- 提出物
  - 授業の進度に応じ、自宅学習向けに課したものや、長期休業中の課題の提出。
  - その他、感想文・ノート等の提出。
- 授業
  - 授業の出席状況・発問への主体的な姿勢を評価する。

### 3. 使用教科書・教材

- 教科書：『新編古典B 言葉の世界へ』（教育出版）第I部
- 副教材：『クリアカラー 国語便覧』（数研出版）
- 副教材：『やさしくくわしい古典文法』（尚文出版）
- 副教材：『まめまめ古文単語 300』（文英堂）

### 4. 授業の展開と形態

- 普通科10クラス（9組・10組は特進クラス）。一斉授業。

### 5. 学習方法

- 年度初めに古典の学習法についてガイダンスを行う。
- 授業は進度表に沿って行ない、適宜課題や小テストを実施して学習内容の定着を図る。
- ノート・課題等を適宜提出させる。

### 6. その他（履修上の注意）

- 成績評価は、定期テストを重視するが、授業態度・提出物の状況が悪い生徒については厳しく対応する。必要に応じて保護者に通知する。

◎授業計画 古文編

	単元・教材名	学習内容	評価の基準
一学期	一 不思議な話 説話 北叟が馬(古今著聞集)／養老の滝(十訓抄)／夢を取ること(宇治拾遺物語)／愛宕護山の聖人(今昔物語集)	○説話を読み、そこに描かれた多様な人物像にふれることで、古典の世界に生きる人のものの見方・考え方を知り、古典に親しむ態度を養う。	読む能力 知識・理解
	二 感性のはばたき 随筆 丹波に出雲といふ所あり・相模の守時頼の母は・能をつかんとする人・神無月の頃(徒然草)／行く川の流れ・安元の大火(方丈記)／かたはらいたきもの・野分のまたの日こそ・無名といふ琵琶の御琴を(枕草子)	○『徒然草』『方丈記』『枕草子』という代表的な随筆作品を読み比べ、作者のものの見方、感じ方、考え方について理解を深めるとともに、文化や感性の伝統について考える。	読む能力 知識・理解
二学期	三 人を思う時 物語 蓬萊の玉の枝(竹取物語)／初冠・身を知る雨・狩りの使ひ(伊勢物語)／安積山(大和物語)	○『竹取物語』『伊勢物語』『大和物語』を読み、話の展開を正確に読み取るとともに、物語の中に登場する和歌に託された心情を考えることで、物語作品を鑑賞する力と態度を養う。	読む能力 知識・理解
	四 日々の記憶 日記 阿倍仲麻呂の歌・黒鳥のもと(土佐日記)／門出・『源氏』の五十余巻・をかしげなる猫(更級日記)	○『土佐日記』と『更級日記』を読み、当時の旅について考えるとともに、登場人物の心情や当時の生活の様子を想像することで、古典の世界に親しむ態度を養う。	読む能力 知識・理解
	五 言葉の力 和歌と俳諧 万葉の歌／王朝の歌／俳諧	○代表的な韻文作品を読み、解釈・鑑賞法について学ぶとともに、作品に詠まれた情景や心情を理解し鑑賞する力を養う。	読む能力 知識・理解
三学期	六 戦いをめぐる人間像 平家物語 先帝入水・能登殿最期(平家物語)	○『平家物語』を読み、登場人物の行動とその背景にある心情を読み取り、武士の生き方について考える。	読む能力 知識・理解
	七 町人の世界 近世小説 世界の借屋大将(日本永代蔵)	○『日本永代蔵』を読み、登場人物の行動や心情を読み取ることで、江戸時代の生活や文化について考察し、古典に親しむ態度を養う。	読む能力 知識・理解

◎授業計画 漢文編

	単元・教材名	学習内容	評価の基準
一学期	一 機知と笑い 此必苦李(世説新語)／買履忘度(韓非子)／畏饅頭(五雜俎)／江南橘為江北枳(説苑)	○比較的短い逸話作品の読解を通して、漢文に用いられる語句の意味、用法を理解し、その構成や展開に即した主題の読み取りができるようにし、古典にふれる楽しさを味わう。	知識・理解 読む能力
	二 項羽と劉邦 鴻門の会・四面楚歌・項王の最期(史記)	○史記を読解しながら、項羽と劉邦を中心とした多彩な登場人物の描写を味わうとともに、作者司馬遷の人間に対する観察眼、洞察力にふれる。	知識・理解 読む能力
二学期	三 詩を味わう 鹿柴(王維)／涼州詞(王之涣)／望廬山瀑布(李白)／月夜(杜甫)／桃夭(詩経)／飲酒(陶潜)	○詩に詠みこまれた情景や作者の心情を読み味わう。	知識・理解 読む能力
	四 文を味わう	○二つの文章を読み、そこに表れた人間・社会・自然	知識・理解 読む能力

	漁父辞（屈平）／桃花源記（陶潜）	などに対する筆者の思想、考え方を理解する。	
三 学 期	五 さまざまな思想 孔子の人となり（論語）／不忍人之心（孟子）／人之性悪（荀子）／小国寡民（老子）／混沌（荘子）／侵官之害（韓非子）	○それぞれの思想家のものの見方、考え方を理解するとともに、それらの思想の生まれた時代背景への理解を深め、それらの思想がわが国の文化や社会に与えた影響についても考える。	知識・理解 読む能力